



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場会社名 NCS&A株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9709 URL https://ncsa.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 隆博
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員常務 経営戦略室長 (氏名) 小林 裕明 (TEL) (06) 6443-1804
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,019	4.0	601	31.4	635	32.8	429	42.8
2025年3月期第1四半期	4,828	4.5	457	9.7	478	7.6	300	4.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 460百万円(24.6%) 2025年3月期第1四半期 369百万円(8.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	26.52	—
2025年3月期第1四半期	18.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	20,993	14,040	66.9
2025年3月期	21,320	14,226	66.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 14,040百万円 2025年3月期 14,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	20.00	—	24.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,700	1.0	2,250	12.8	2,360	11.9	1,560	△26.0	96.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	18,000,000株	2025年3月期	18,000,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	1,818,553株	2025年3月期	1,818,453株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	16,181,447株	2025年3月期1Q	16,092,559株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で緩やかに回復し、企業の設備投資においても持ち直しの動きがみられました。しかしながら、米国の通商政策の影響などによる景気の下振れリスクの高まりが懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域である情報サービス産業におきましては、経済産業省が警鐘を鳴らした「2025年の崖」を背景に、古い基幹業務システムを刷新する動きが本格化しております。加えて、デジタル利用を前提とした制度の施行や労働力不足をきっかけに、大企業のみならず、中堅・中小企業においてもIT活用の重要性は高まりがみられます。これらのことから、幅広い産業分野・規模にわたって企業のIT投資は増加し、市場環境は堅調に推移しております。

このような環境のもと、当社グループは「真に世の中から必要とされる会社」を目指して、成長に向けた積極的な投資として主力ソリューションの強化と「社内スタートアップ制度」（研究開発を通して新しい事業の芽を創出する活動）による事業創出活動を積極的に推進しております。

企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）推進に寄与することを目指し、当社グループは継続してお客様からのニーズを自社のソリューションに反映するよう取り組んでおります。ホテル・レストラン向けオーダーエントリーシステム「E.M.O（エモ）」はルームサービスやテナント店舗に関する機能強化を行い、導入件数を堅調に増やしました。さらに、新しい技術への挑戦として「社内スタートアップ制度」にて生成AIについての研究を行いました。この研究の一環として、システム可視化ソリューション「ReverseNeo（リバースネオ）」へ生成AIの組み込みを検討しました。その結果、処理フローや処理概要を自動生成する機能が実現し、2025年4月に新しいバージョンをリリースしました。また、従業員に対し「生き生きと活躍できる環境の構築」を継続して進めており、2025年6月より平均5%の給与水準の引き上げを実施しました。この結果、3年連続で4.5%以上の給与水準の引き上げを実施しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は、前年同四半期に比べ1億90百万円増収の50億19百万円となりました。利益面につきましては、利益率の高い自社製品によるソリューション及び高収益案件への注力を続けることにより営業利益は前年同四半期に比べ1億43百万円増加の6億1百万円、経常利益は前年同四半期に比べ1億57百万円増加の6億35百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ1億28百万円増加の4億29百万円となりました。

当社グループは、ITサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績の記載を省略しております。なお、売上分類別の概況は次のとおりです。

<自社製品によるソリューション>

マイグレーションサービスの保険会社向け大型案件が順調に進捗いたしました。また、自治体向け給付金システム「The給付」においては、アライアンス先との協業が拡大したことにより導入自治体数が伸びました。その結果、自社製品によるソリューションの売上高は前年同四半期に比べ3億43百万円増収の15億60百万円となりました。

<システムインテグレーション>

生産管理システム「Factory-ONE 電脳工場」の導入・カスタマイズ案件や、ホテル業向けシステム開発・機器販売などの売上は堅調に推移しました。しかしながら、開発から保守フェーズへ移行する案件が重なったことで、システムインテグレーションの売上高は前年同四半期に比べ2億19百万円減収の17億49百万円となりました。

<機器・パッケージ>

コンピュータ機器及び周辺機器、パッケージソフトウェア等の売上のうち、他の開発・サービスを伴わない機器・パッケージ単体の販売による売上高は、前年同四半期に比べ1億36百万円増収の4億29百万円となりました。

<受託開発>

大手SIerからの受託開発につきましては、当社の得意分野にリソースを集中させることによる収益性の向上に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間におきましては官公庁向けシステム開発の受注が堅調に推移いたしました。その結果、受託開発の売上高は前年同四半期に比べ2億4百万円増収の12億79百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は209億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億27百万円減少いたしました。流動資産は167億68百万円となり、4億81百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加(1億98百万円)、商品の増加(1億2百万円)、受取手形、売掛金及び契約資産の減少(8億25百万円)であります。固定資産は42億24百万円となり、1億54百万円増加いたしました。主な要因は、無形固定資産の増加(1億1百万円)、投資有価証券の増加(49百万円)であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は69億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億40百万円減少いたしました。流動負債は47億3百万円となり、1億43百万円減少いたしました。主な要因は、その他に含まれる未払費用の増加(10億44百万円)、未払金の増加(2億68百万円)、賞与引当金の減少(10億63百万円)、支払手形及び買掛金の減少(4億10百万円)であります。固定負債は22億50百万円となり、2百万円増加いたしました。主な要因は、退職給付に係る負債の増加(6百万円)であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は140億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億86百万円減少いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加(33百万円)、利益剰余金の減少(2億18百万円)であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の66.7%から66.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2025年5月14日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,153,862	11,352,695
受取手形、売掛金及び契約資産	5,318,810	4,492,830
商品	475,367	578,222
仕掛品	39,346	41,817
その他	263,021	302,937
貸倒引当金	△70	△50
流動資産合計	17,250,339	16,768,454
固定資産		
有形固定資産	381,236	424,774
無形固定資産	813,616	915,398
投資その他の資産		
投資有価証券	1,100,280	1,149,753
繰延税金資産	1,227,092	1,207,133
差入保証金	435,695	430,862
その他	154,685	139,031
貸倒引当金	△42,291	△42,261
投資その他の資産合計	2,875,463	2,884,520
固定資産合計	4,070,315	4,224,693
資産合計	21,320,655	20,993,148

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	934,449	523,888
リース債務	20,688	18,474
未払金	1,127,170	1,395,846
未払法人税等	616,083	249,831
賞与引当金	1,556,366	493,104
役員賞与引当金	55,480	38,500
受注損失引当金	9,694	8,939
その他	526,128	1,974,448
流動負債合計	4,846,060	4,703,033
固定負債		
リース債務	9,278	5,066
退職給付に係る負債	2,216,747	2,223,059
長期未払金	21,970	21,970
固定負債合計	2,247,995	2,250,096
負債合計	7,094,055	6,953,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,775,100	3,775,100
資本剰余金	4,034,012	4,034,012
利益剰余金	6,578,677	6,360,548
自己株式	△799,729	△799,729
株主資本合計	13,588,060	13,369,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	449,520	483,409
為替換算調整勘定	46,965	39,574
退職給付に係る調整累計額	142,052	147,103
その他の包括利益累計額合計	638,539	670,087
純資産合計	14,226,599	14,040,018
負債純資産合計	21,320,655	20,993,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	4,828,143	5,019,134
売上原価	3,263,117	3,270,070
売上総利益	1,565,026	1,749,063
販売費及び一般管理費	1,107,487	1,148,057
営業利益	457,539	601,006
営業外収益		
受取利息及び配当金	15,353	20,026
未払配当金除斥益	6,542	10,136
その他	799	4,310
営業外収益合計	22,696	34,474
営業外費用		
支払利息	135	71
為替差損	1,768	-
その他	-	61
営業外費用合計	1,903	133
経常利益	478,332	635,346
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	586	-
特別利益合計	586	-
税金等調整前四半期純利益	478,918	635,346
法人税、住民税及び事業税	166,633	204,162
法人税等調整額	11,856	2,052
法人税等合計	178,489	206,214
四半期純利益	300,428	429,132
親会社株主に帰属する四半期純利益	300,428	429,132

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
四半期純利益	300,428	429,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,242	33,889
為替換算調整勘定	9,916	△7,391
退職給付に係る調整額	7,203	5,050
その他の包括利益合計	69,362	31,548
四半期包括利益	369,791	460,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	369,791	460,680
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループはソフトウェア開発を中心とするコンピュータ関連総合会社で、コンピュータ関連機器販売及びソフトウェア開発の両面を事業分野としております。

顧客の利用目的に応じたコンピュータ機器の選定とソフトウェア開発を主とするITサービスを事業内容としており不可分の営業形態の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	64,129千円	68,390千円